

経営比較分析表（令和元年度決算）

岡山県鏡野町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
12,859	5,062	第2種該当	10:1	

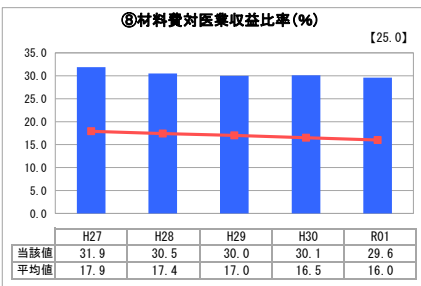
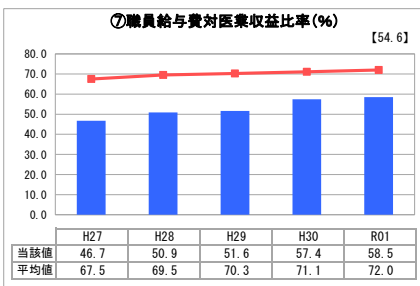
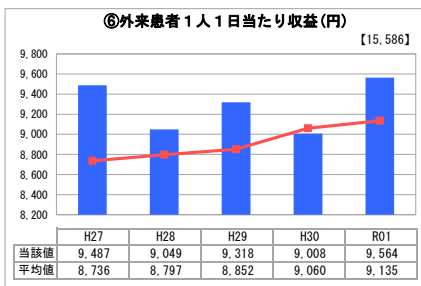
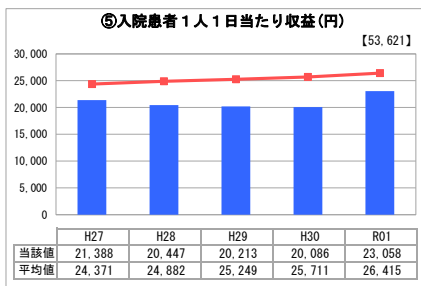
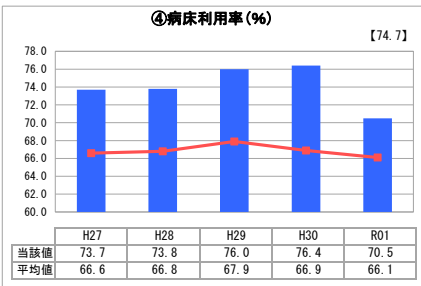
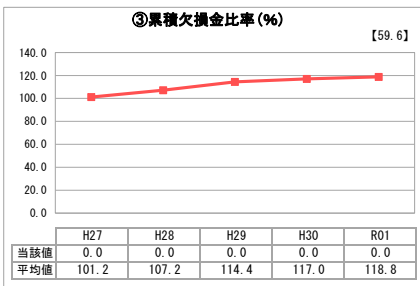
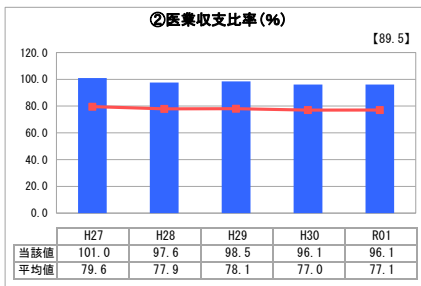
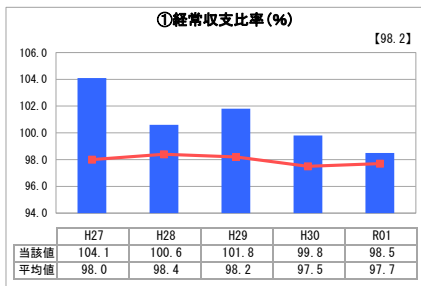
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

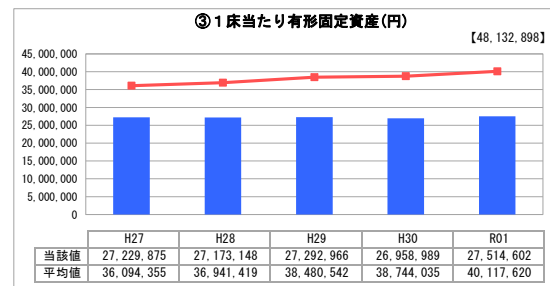
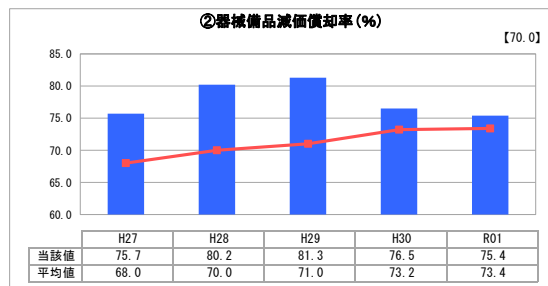
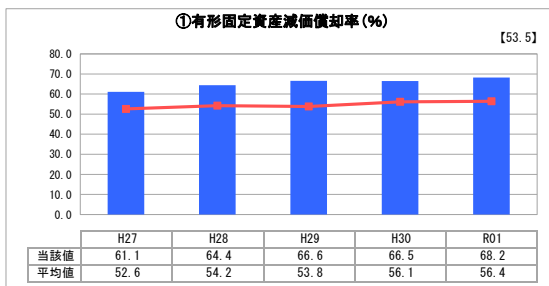
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
48	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	88
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
36	27	63

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

へき地医療拠点病院として、鏡野町内3か所の診療所にそれぞれ2～3日程度当院医師を派遣するとともに、今年度から美咲町の診療所への派遣も行い、へき地医療の安定供給を図っている。また、2次救急病院として夜間・休日問わず救急患者の受け入れを行っている。そのほか町で行われる乳児健診、乳がん検診等に医師を派遣している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医師数は常勤9名体制で安定した医療が提供できるようになった。一般病床の一部11床を令和元年度から地域ケア病床に転換し、看護師、理学療法士の増員も行ったことで地域包括ケア入院医療管理料の算定が可能となった。経費削減抑制対策として、引き続き専門の購買責任者による医薬品や診療材料等のコスト削減を図っている。

2. 老朽化の状況について

空調設備や給湯設備等の老朽化が進み、年間度々の空調機修理や配管補修が行われた。配管の老朽化検査を実施し、大規模な配管修繕が必要なことから、次年度以降に修繕計画を立てることとした。医療機器等の器械及び備品については、薬剤支援システム、超音波画像診断装置、MRI装置の一部等を耐用年数経過により更新した。

全体総括

令和元年度は地域包括ケア病床転換を実施した年で、施設基準を満たすため理学療法士、看護師等の増員を行ったため人件費が増大し赤字となった。現時点では、赤字の原因も把握できており経営実態に鑑み経営形態の見直しの必要性・緊急性は低い。しかしながら、施設の老朽化や人口減少による医業収入の減少が予想されることから、地域ケア病床の増床や療養病床の在り方などを含め将来的に決定していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。